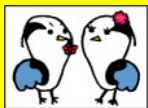


～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成 28 年 9 月 9 日 (NO.80)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

小中一貫CS推進協議会

9月6日(火)、教職員の推進組織「小中一貫CS推進協議会」を開催しました。

(1) 先進地視察研修報告について

はじめに「全国CS研究大会 in 由利本荘」に参加した鈴木広教育次長から視察報告がありました。浦幌町が導入しているCSを基盤とした小中一貫教育の有効性や学園方式を取り入れた学校運営協議会の取組の先見性に確信を得た旨の発表がありました。

また、天笠茂千葉大学特任教授が「これからのCS」と題して基調講演をし、今後のCSの方向性として次の4点を強調していることが報告されました。

(視点1)小中一貫教育とともに (視点2)中学校区をフィールドに

(視点3)地域学校協働本部とともに (視点4)教育課程の共有

特に視点4について、学習指導要領改訂の方向性は「社会に開かれた教育課程」であり、地域の人的・物的資源を活用するなど、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させることの重要性を指摘していました。

(2) 各学園の2学期以降の事業計画の交流について

○発表者 (浦幌学園) 高田三十三 CS担当、鳥居真之学習指導部長

小泉伸二生徒指導部長、金田学うらスタ部長

(上浦幌学園) 坂下由紀 CS担当、甲谷聡枝学習指導部長

澤田理沙生徒指導部長、佐藤陽子うらスタ部長

6月から「学園小中一貫CS推進協議会の進行管理表」を活用し、当初の計画に年度途中であっても「プラスα」の新たな活動計画を付け加えながら充実させてきています。

「うらモンGO!」や「上浦幌学園子ども夏祭り」の活動、修学旅行におけるふるさと学習の企画、学習のきまりや家庭学習の交流等、新たな活動が企画され着実に実践されている様子について交流を深めました。

また、校長先生や教頭先生、公民館長の皆さんから、教育現場の活動状況について発言があり、両学園ともに充実した活動が行われていることを確認しました。

様似町から来町

■8月22日(月)、様似町から教育委員会、様似小学校、様似中学校の6名の皆さんが、浦幌学園と教育委員会にCS視察にいられました。

■様似町ではすでに小中一貫教育を導入し先進的な教育実践に取り組んでいます。平成30年からのCS導入を目指し、先進地視察や専門家を招いたCS講演会の開催を予定するなど、多くの刺激を与えていただきました。

